

(4) 少子高齢化・人口減少に対応した取組

① 介護帰省者へのインセンティブ提供

■計画

取組	具体的内容	実施主体
介護帰省者へのインセンティブ提供	介護帰省の利用に対し、片道3千円キャッシュバックによるJR運賃との格差解消策で、飛行機利用へ誘導し、利便性を体験してもらうことで定着に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県 ・市町村 ・観光協会、旅館組合 ・商工会議所、商工会 ・空港ビル

■平成 26 年度～平成 28 年度実施状況

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
<p>紀南地方の少子高齢化に対応した需要を確保するため、首都圏で生活している子世代の介護帰省を促すため、飛行機とJRとの運賃格差解消のキャンペーンを実施し、運賃制度のPR及び介護帰省の実態等の把握を行う。</p> <p>※通常期運賃 JAL 21,090円 JR 17,300円 16,250円（往復割引時）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーンチラシの作成 ・ポスターの作成 ・アンケートの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護帰省割引」利用キャンペーンの実施 <p>期間：H27.1.5～3.5、H27.4.1～7.18、9.1～12.28 インセンティブ：片道4,000円の商品券（VJA） 期間：H28.9.1～10.29 インセンティブ：初回4,000円、2回目以降2,000円の商品券（VJA）</p> <p>方法：アンケートに回答のうえ、搭乗券を郵送 キャンペーン応募実績：113人+H28実績8人 アンケート回答：64人+H28実績8人</p>

啓発活動の実施

■計画

取組	具体的内容	実施主体
啓発活動の実施	地元での利用促進の新たな手法として、地元FM局とタイアップした番組制作を行い、「介護帰省運賃」や電車より割安な「シルバー割引運賃」についての制度周知を行うことで、少子高齢化に対応した利用促進に取り組み、飛行機の利用者数を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県 ・市町村 ・観光協会、旅館組合 ・商工会議所、商工会 ・航空会社 ・FM局

■平成 26 年度実施状況

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
<p>紀南地方の少子高齢化に対応した需要を確保するため、介護帰省割引運賃や65歳以上が利用できる当日シルバー割引運賃について地元FM局を活用した周知を図り、少子高齢化のなかにあっても飛行機利用を増やしていく。</p> <p>○地元FM局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CM原稿の作成 ・新聞広告原稿の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・FM TANABE <p>生読みCM(1分):279回(H26.12.15～H27.3.23) スポットCM(20秒):990回(H27.1.5～3.23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FM ビーチステーション <p>スポットCM:158回(H27.1.5～3.20) 首都圏FM局とのクロストーク協賛:19回</p>

<p><番組提供> 首都圏FM局とのクロストークで、介護婦省利用キャンペーン及び定額観光タクシー大幅割引キャンペーンを中心に南紀白浜＝羽田線をPR</p> <p><スポットCM> 介護婦省割引運賃、シルバー割引運賃、乗継割引運賃など、少子高齢化に適した運賃制度をPR</p> <p>○地元地方紙の活用 住民の情報源である地元夕刊紙に、南紀白浜＝羽田線及び北海道・東北・小松への乗継利用をPR</p>		<p>(H27.1.5～3.19)</p> <p>かわさきFMとのクロストーク協賛 3回 FMせたがやとのクロストーク協賛 5回 レディオ湘南とのクロストーク協賛 11回 内容:紀南の情報発信として、世界遺産、パンダ誕生、介護婦省割引利用キャンペーン、定額観光タクシー大幅割引キャンペーンを通して、南紀白浜空港をPR (FMリスナー反響結果を資料編に添付)</p> <p>・街頭でのPR及びアンケートの実施 ・地元夕刊紙へ広告掲載</p> <p>(H27.3.21 ※日高新聞のみ 3.20)</p> <p>掲載紙(発行部数):日高新聞(16,000部) 紀州新報(18,000部) 紀伊民報(37,000部) 紀南新聞(13,000部) 熊野新聞(12,600部)</p> <p>内容:割引運賃、乗継利用</p>
---	--	---

■平成 27 年度実施状況

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
<p>当プログラムの取り組みによる利用増から、夏季需要期に「機材の大型化」及び「特便割引設定期間の拡大」が実現した。</p> <p>紀南地方の少子高齢化に対応した需要を確保するため、ビジネス需要の掘り起こしや、介護婦省割引運賃や65歳以上が利用できる当日シルバー割引運賃について地元FM局を活用した周知を図り、少子高齢化のなかにあっても飛行機利用を増やしていく。</p> <p>○地元FM局</p> <p><番組提供> 首都圏FM局とのクロストークで、特便割引設定期間の拡大、介護婦省利用キャンペーン及び定額観光タクシー大幅割引キャンペーンなどを中心に南紀白浜＝羽田線をPR</p> <p><スポットCM> 特便割引設定期間の拡大によるビジネス需要の掘り起こし、介護婦省割引運賃・シルバー割引運賃・乗継割引運賃など、少子高齢化に適した運賃制度をPR</p> <p>○地元地方紙の活用 住民の情報源である地元夕刊紙に、南紀白浜＝羽田線及び北海道・東北・小松への乗継利用をPR</p>	<p>・CM原稿の作成 ・新聞広告原稿の作成</p>	<p>・FM TANABE 生読みCM(1分):408回(H27.6.29～H28.3.15) スポットCM(20秒):422回(H27.6.29～8.28)</p> <p>・FM ビーチステーション スポットCM:272回(H27.6.29～H28.3.15) 首都圏FM局とのクロストーク協賛:42回 (H27.7.10～H28.3.25)</p> <p>「かわさきFM」クロストーク協賛 5回 「FMせたがや」クロストーク協賛 12回 「レディオ湘南」クロストーク協賛 25回 内容:紀南の情報発信として、世界遺産、パンダ誕生、介護婦省割引利用キャンペーン、定額観光タクシー大幅割引キャンペーンを通して、南紀白浜空港をPR)</p> <p>・地元夕刊紙へ広告掲載 (H27.6.28、8.8、8.15、11.21、11.28、H28.2.26)</p> <p>掲載紙(発行部数):日高新聞(16,000部) 紀州新報(18,000部) 紀伊民報(37,000部) 紀南新聞(13,000部) 熊野新聞(12,600部)</p> <p>内容: 機材大型化、割引運賃、乗継利用</p>

■平成 28 年度実施状況

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
<p>紀南地方の少子高齢化に対応した需要を確保するため、ビジネス利用・私事利用者に対し、割引運賃などの周知を図ることにより、少子高齢化のなかにあっても飛行機利用を増やしていく。</p> <p>○地元 FM、テレビへの CM 放送 各種割引運賃などの運賃制度をPR(スポット CM)</p> <p>○地元地方紙の活用 住民の情報源である地元夕刊紙に、各種割引運賃などをPR</p> <p>○地元で開催される各種イベントへの出店 各種地元イベントに出店し、各種割引運賃などの運賃制度をPRすると共に、実態調査(アンケート)を実施</p>	<p>・CM原稿の作成</p> <p>・新聞広告原稿の作成</p> <p>・アンケートの作成</p> <p>・イベント時での啓発グッズの作成</p>	<p>・和歌山放送(FM) スポット CM(20 秒):10 回(H28.7.13~28)</p> <p>・テレビ和歌山 スポット CM(10 秒):10 回(H28.7.13~28)</p> <p>・地元夕刊紙へ広告掲載 (H28.6.19 9.21) 掲載紙(発行部数):紀伊民報(37,000 部) 内容:割引運賃、乗継利用</p> <p>・イベント等への出店 白浜商工祭(H28.4.16~17) 田辺商工フェア(H28.5.14~15) 紀勢道開通1周年祭(H28.7.3) 空の日フェスタ 2016(H28.9.17) 弁慶まつり(H28.10.1)</p>

② モニターツアーの実施

■計画

取組	具体的内容	実施主体
モニターツアーの実施	JAL と連携してモニターツアーを実施し、乗継利用による旅行を提案するなど、新しい旅行形態や飛行機の利便性を積極的にPRし需要喚起に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県 ・市町村 ・商工会議所、商工会 ・航空会社 ・旅行会社

■平成 26 年度実施状況（平成 27・28 年度実施なし）

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
<p>地元白浜町、地元FM局、県が連携して、乗継及び北海道の魅力を体験するモニターツアーを実施し、乗継体験及び取材による番組を制作し、放送を通じ地元住民への乗継利用をPRする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継モニターツアーの行程作成 ・FM局での番組作製 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継モニターツアー <ul style="list-style-type: none"> 日程： H27.2.18～20 参加： 3名 内容： 乗継体験 <ul style="list-style-type: none"> （往路）南紀白浜－羽田－新千歳 （復路）旭川－羽田－南紀白浜線 北海道の魅力取材 <ul style="list-style-type: none"> ・新千歳空港ビルの魅力 ・小樽の魅力 ・白い恋人パーク ・旭山動物園 ・旭川ラーメン村 FMリベール（旭川）へ出演（2.20）し乗継をPR 参加者： FMビーチステーション 白浜町 和歌山県 ・番組制作 <ul style="list-style-type: none"> 放送： H27.3.17（10:00～10:58） 再放送 同日（17:00～17:58） 内容： 上記乗継モニターツアー内容を放送

③ 地元利用促進要因分析調査の実施

■計画

取組	具体的内容	実施主体
地元利用促進要因分析調査の実施	日高地方以南の南紀白浜空港利用圏域の企業に対し、空港利用実績の調査を行い、問題点等の整理を行う。	・和歌山県 ・市町村

■平成 28 年度実施状況

調査・分析、計画・立案	準備・制作	実績・成果物
日高地方以南の南紀白浜空港利用圏域の企業に対し、空港利用実績の調査を行い、問題点等の整理を行う。	・アンケートの行程作成 ・調査実施業者との調整	・各企業へのアンケートの送付 ・とりまとめ及び分析 ・問題点の把握